

発行：岸和田市議会 編集：「議会だより」編集委員会 TEL 423-9665
(市議会ウェブサイト <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/>)



お城まつり 岸和田城ライトアップ

令和3年度予算 賛成多数で可決 新庁舎 工事請負契約の議案を否決

第1回定例会では、令和3年度一般会計予算をはじめとする新年度関連の議案や人事案件など41件を審議しました。そのうち、新庁舎整備のため事業者と工事請負契約を締結する議案を否決しました。

また、一般質問では5人、総括質問では6人の議員が市の重要課題に対して見解をただしました。

定例会の概要

会期

令和3年2月24日から3月23日までの28日間

本会議1日目(2月24日)

議案説明員の定期報告、監査報告、専決処分などの報告

2年度補正予算などの議案の上程、各委員会へ付託

一般質問

各常任委員会・庁舎建設特別委員会(2月26日～3月3日)

付託議案の審査

本会議2日目(3月4日)

各委員長から付託議案の審査結果報告、採決

3年度当初予算案、関連議案の上程

市長の施政方針演説

本会議3日目(3月9日)

総括質問

本会議4日目(3月10日)

総括質問

予算特別委員会設置、審査の付託、委員選任

予算特別委員会(3月11日～18日)

付託議案の審査

本会議最終日(3月23日)

予算特別委員長から3年度当初予算案、関連議案の審査結果報告、採決

選挙管理委員及び補充員の選挙

副市長・固定資産評価審査委員の選任、教育委員の任命

予算特別委員会 委員長報告

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない今、本市も厳しい状況となつていますが、市民のニーズはコロナ禍でも増加し続けている。待機児童対策では保育士確保事業の実施、小・中学校ではGIGAスクール構想の開始など、未来を担う子どもたちのための予算が拡充された点について、評価する意見があった。

一方で、コロナ禍において地方自治体に求められていることは市民の命や暮らしを守ることであり、行財政再建プランを基調とする予算には反対するという意見があった。

採決の結果、一般会計予算は賛成多数、その他の議案は満場一致をもって原案を可決した。

◆審査過程での主な意見・要望

▽地域包括ケアシステムの構築実現に向け、各種事業の充実に努められたい。
▽多胎児妊婦健康診査受診券の拡充及び産婦健康診査の助成を実施されたい。
▽税外収入を確保するため、広告収入の促進に努められたい。

▽コロナ禍により生活に困窮する市民が増えている状況のなか、担当課の体制強化に努められたい。
▽議員報酬等に関する条例改正案の上程、採決
▽議会運営委員会による閉会中の継続調査の申し出

制を見直し、市民サービスの低下を防がれたい。
▽行財政改革を的確に進め、必要な施策には重点的に費用を支出するような特徴のある市政運営に取り組まれたい。

▽公共施設の再編については、地域の理解を得られるよう丁寧に説明を行うなど、マネジメント力・調整力を発揮されたい。

▽市有地売却については、3年度に予定している土地に加え、過去に予定しているながら未契約となっている土地についても収入確定させるよう全庁的な体制で取り組まれたい。
▽保育士確保事業を確実に実施し、その効果や待機児童、保育士不足の状況を踏まえ、施策の継続について検討されたい。

▽小・中学校の統廃合を見直すとともに、少人数学級を早急に実現されたい。
▽公立幼稚園・保育所再編に当たっては、身近な施設を残し、公的責任を果たされたい。

【予算特別委員】

- ◎委員長
- 副委員長
- ◎ 稲田悦治
- 堂本啓祐
- 反 中 市 旭
- 南 永 加代子
- 友 田 武 史 修
- 西 田 且 哲
- 京 本 妙 子
- 松 林 憲 二
- 岡 井 良 介

賛否が分かれた議案

公…公明党 次…次世代政策会議 無…無所属クラブ
共…日本共産党 維…大阪維新の会
誠…誠和クラブ 未…きしわだ未来 O…賛成 X…反対 (議長は表決しません)

Table with columns for item name, council member names (1-24), and result. Includes items like '議案第7号 工事請負契約の締結について' and '議案第25号 令和3年度岸和田市一般会計予算'.

全会一致で可決した議案

Table with columns for item number and item name/content. Includes items like '議案第1号 岸和田市附属機関条例及び特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について'.

Table with columns for item number and item name/content. Includes items like '議案第18号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について'.

会派代表による 総括質問

令和3年第1回定例会では、6会派の代表が総括質問を行いました(発言順に掲載)。

総括質問・一般質問の様子は、市議会ウェブサイトの録画中継のページでご覧いただけます。



URL: <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/184rokuga.html>

また、5月下旬以降、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧いただけます。

新型コロナウイルス支援と対策、新庁舎建設について

公明党 代表 桑原 佳一

①新型コロナウイルスの甚大な影響は、議会・行政の双方にとって想定外のことであり、感染拡大前の方針を大きく見直す必要に迫られている。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、約2億5千万円の使い道が定まっていない。これを今後も続く新しい生活様式のなかで苦しむ市民や事業者の命と暮らしを守るために活用し、効果的、効率的な支援と対策を速やかに実施するよう要望した。

②新庁舎の建設について次の点を確認した。

- ・全ての事業者の提案が高評価であった点
- ・失格とした事業者へ聞き取りを実施した日時、場所及びその通知日
- ・失格と判断し通知する起案・決裁日と内容



コロナ対策、教育・保育、まちづくりについて

日本共産党 代表 岸田 厚

①コロナ禍で市民の暮らしや中小事業者の経営は大変な状況であり、今後の臨時交付金の使い道は、市民や事業者にとって有効な施策となるよう検討すること。また、ワクチン接種について、市内全ての高齢者が接種できるように、正確な情報を提供すること。

②幼稚園・保育所再編及び小・中学校適正配置は、市民説明会で出された意見を尊重し、今後の計画に反映させること。また、小中一貫校については、メリットだけでなくデメリットも示すこと。

③まちづくりにおける公共施設の再編は、国が示した削減目標の達成ばかりを先行させず、地域住民と十分に協議し、市の方針の押し付けとならぬよう今後の取り組みを進めること。



令和3年度施政方針について

次世代政策会議 代表 西田 武史



①外部委員がいる審議会や議会などに対し、情報共有を十分に行うこと。②新型コロナウイルスワクチン接種について、一日も早く本市の計画を立て、速やかに市民に対して告知すること。③公募設置管理制度(Park-PPF)を活用し、民間活力を最大限に生かす。公園のさらなる魅力アップを図ること。④今後行う予定の岸和田城耐震化によるリニューアルに合わせ、新たな魅力づくりを行うこと。⑤来年迎える市制施行100周年の記念事業に本市の看板でもあるだんじり関係のイベントを検討すること。



施政方針について

きしわだ未来 代表 烏野 隆生



①幼保再編計画では、今後10年間で再編・新設を予定となっているが、今後ますます保育ニーズは増加することが見込まれる。一刻も早く待機児童を解消するため、早期に計画を進めるよう要望する。

②公民館及び青少年会館再編について、近隣の公共施設との集約化を検討し、地域や利用する人の理解が得られるように丁寧な説明をするよう要望する。

③久米田駅周辺整備については、駅西側アクセス改善基本構想に基づき、着実に事業を推進し、まちのにぎわいを生み出すよう要望する。

④木材コンビナート貯木場について、埋め立ても含めた活用策を検討し、引き続き府と協議を進め、活性化へ取り組みよう要望する。

公共施設のあり方について

その他の質問 ○新型コロナウイルス対策
○広域行政の推進 ほか

大阪維新の会 代表 宇野 真悟



【問】公共施設の適正規模・適正配置及び再編にかかる計画は、幼稚園や学校、公民館など、教育関係施設が大きな割合を占めている。新型コロナウイルス感染症拡大により延期された市民への説明会を早急に実施していくことだが、今後、これらの計画をどのように進めていくのか、教育長の考えを聞きたい。

【答】地方自治体は、市民全体の利益の向上を図ることが使命であると理解しており、市民から預かった財源の使い道について、公益、公平・平等の観点から判断すべき責任がある。今後とも、この観点から市民、議会と十分に議論し、計画の推進に努めたい。

小・中学校の規模の適正化と適正配置について

その他の質問 ○木材コンビナートの貯木場
○次期総合計画の策定

誠和クラブ 代表 岡林 憲二



昨年3月に市立小・中学校の適正規模及び適正配置基本方針が策定され、同年7月に市内8カ所で説明会が開催された。統廃合される学校もあり、反対も含めいろいろな意見があるが、何より大切な視点は、子どもたちの教育環境の充実である。多少の手間や時間がかかっても、地域住民の声にしっかりと耳を傾け、丁寧な説明をし、理解を得ながら共に考え進めることで、結果的に早く良い結論が導き出されると考える。

今後、公共施設の適正化を進めていくなかで、特に小・中学校などの教育関係施設については、担当部署がマネジメント力や調整力を大いに発揮するよう強く要望する。

新庁舎 工事請負契約の議案を否決

◆本会議での討論

庁舎の建て替え工事を請け負う事業者と契約を結ぶための議案が提案され、これを否決しました。

◆これまでの経緯

本市では老朽化した庁舎の建て替え工事を請け負う事業者の選定のため、外部委員5名と副市長で構成する選定委員会にて選定を進めてきました。

2次審査前、1次審査を通過した3者のうち2者が秘書課を訪れ、選定委員である副市長の在席を確認したところ不在であったため、名刺を置いていきました。市はこの行為が失格要件の「委員に故意に接触を求めた場合」に当たると判断し、2者を失格としました。その後、選定委員に経緯を伝えたとこ理解を得られず、委員4名が辞任しました。

2次審査の結果、残る1者が受注候補者に選定されました。

【賛成討論】
○老朽化した庁舎の建て替えは喫緊の課題である。財源面からも国の有利な起債制度が活用できるのは令和2年度までであり、先送りは資金計画に大きな見直しが必要となる。

【反対討論】
○庁舎建設は多額の費用がかかるため、市民の理解を得る必要がある。選定委員に相談せず単独で失格を判断した行為は、公明性、透明性に欠ける。○失格の判断は恣意的でないことを証明する必要があり、選定委員会においてすべきである。その手続きがまま1事業者で選定が行われ、複数者の案を比較検討することができなくなった。

※議案に対する議員の賛否は2面に掲載。

市政に関する 一般質問



反甫 旭
(きしわだ未来)

チビッコホールの待機児童について
その他の質問 ○小中学校の適正規模・適正配置
○駐車場の附置義務 ほか

令和3年度のチビッコホール利用申請者数は、常盤・光明・城東・新条の4小学校で定員を上回り、全体で25人、うち17人の待機児童が常盤で発生している。また、平成27年度から、利用対象者を6年生まで拡大したにもかかわらず、常盤では2年生でも待機児童が発生している。この状況を重く受け止め、一刻も早く改善に向けて取り組むべきである。教室として使う部屋の確保にも苦慮しているなか、今後、国の方針で少人数学級が進められることから、教室を活用したチビッコホールの開設はますます困難になると考える。新たな場所での増改築など、抜本的な解決策の検討を要望する。



京西 且哲
(次世代政策会議)

防災計画の実効性に課題あり

「防災への意識が風化している」。発災から10年を迎えた東日本大震災の被災者が、2月13日に発生した福島・宮城地震(震度6強)の際に述べた言葉だ。本市の地域防災計画を補完する業務継続計画(BCP)では、災害対策本部を市役所から2.5キロメートル離れた消防本部に設置されている。本来、市役所に設置すべきだが、庁舎の倒壊や職員が倒壊に巻き込まれることも想定しているためである。早急に庁舎の耐震化と各局別BCPを作成し、業務継続が可能な体制を確立すべきである。



本市の「地域防災計画」・「業務継続計画」



殿本 マリ子
(誠和クラブ)

丘陵地区開発事業の進捗状況について
その他の質問 ○新型コロナウイルス感染症対策

平成26年度に始まった、丘陵地区ゆめみヶ丘岸和田の整備事業では、エリアごとに新しいまちが出来つつある。業務エリアでは、今年の春には20社が操業を開始し、総従業員数は千人を超える見込みである。住宅エリアでは、すでに約40世帯が入居し、将来的には260世帯の入居を想定している。しかし、住民や通勤者の足となる地域公共交通の確保が十分ではないため、既存バスルートの便数改善など、交通利便性の向上を早急に進めるよう要望する。また今後、子どもの数が増加することが想定され、山直南小学校を閉校する必要はない。事前の説明どおり山直南小学校へ通学できるように、配置計画の見直しを要望する。

令和2年度政策討論会 市長へ提言書・報告書を提出

本市議会では、市政に関する重要な施策について共通認識を持つとともに、政策水準を高めるため政策討論会を行っています。全議員が3つの分科会に分かれ、下記のテーマで令和2年8月から3年3月まで9回の政策討論を重ねてきました。各分科会で討論内容がまとまったため、提言書・報告書として永野市長へ提出しました。

- ・町会加入者の減少問題
- ・競輪場を活用した観光促進
- ・公契約のあり方

提言書・報告書は市議会ウェブサイトからご確認いただけます。

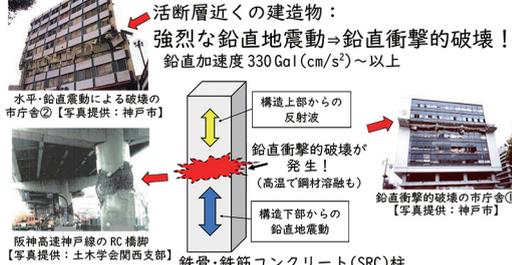


井舎 英生
(現無所属クラブ)

活断層「大阪湾南東岸断層」と防災都市について
その他の質問 ○コロナ禍における市民病院の運営・経営
○市民意見聴取制度「パブリックコメント」及び市情報公開制度

庁舎付近を活断層が縦断していると1月に報道された。活断層を震源とする鉛直地震動は、建物の柱を衝撃的破壊する怖さがある。この震動の免震技術は建築分野でも確立されておらず、対策は危険を避けることだ。新庁舎建設は、活断層と津波5メートル線から離れた場所にすべきだ。

☆新庁舎は「活断層と津波5m線」から遠ざけて建設すべき



活断層近くの建築物：
 強烈な鉛直地震動⇒鉛直衝撃的破壊！
 鉛直加速度 330 Gal (cm/s²)以上

水平・鉛直地震による破壊の市庁舎②【写真提供：神戸市】

阪神高速神戸線のRC橋脚【写真提供：土木学会関西支部】

鉄骨・鉄筋コンクリート(SRC)柱

注) 地下10mで330 Gal⇒地表面で660 Galに増幅し、また、岩盤内地下255mで127 Gal⇒地表面で1399 Galに増幅が計測された。



雪本 清浩
(次世代政策会議)

学校教育とコロナ感染拡大の影響について

①コロナ禍で厳しい状況が続く、社会全体が大きな転換期を迎えるなか、将来を担う子どもたちの教育には、より一層力を入れる必要がある。改訂された学習指導要領に基づき、子どもたちに、時代に合った教育を提供しよう求める。また、スクールロイヤー制度を活用し、教育現場のさまざまな問題を解決しよう要望する。

②新型コロナウイルスの感染拡大は油断できない状況であるが、医療従事者や事業者をはじめとした市民全員が尽力しており、それぞれ大変な思いをしている。感染拡大の影響について状況把握に努め、引き続き、支援策を検討するよう要望する。

- ☆補 充 員
- 中井 隆行
 - 谷ノ田 宏
 - 谷一 康
 - 金田 隆
- ☆選挙管理委員
- 西村 芳徳
 - 永野 和良
 - 池川 美津雄
 - 谷中 明子
- (敬称略)

選挙管理委員及び補充員当選者名簿

選挙管理委員及び補充員が任期満了となるため、3月23日の本会議で左記の委員を選出しました。任期は3月30日からです。

6月定例会の日程(予定)

日時	会議名	日時	会議名
6月21日(月)	本会議	6月28日(月)	事業常任委員会
22日(火)		29日(火)	総務常任委員会
23日(水)		30日(水)	庁舎建設特別委員会
25日(金)	文教民生常任委員会	7月2日(金)	本会議

※開会時間は午前10時の予定です。傍聴される方は、市役所新館3階議会受付へお越しください。

○本会議の様子を、テレビ岸和田で生中継します。再放送は、6月26日(土)、27日(日)、7月3日(土)、4日(日)の予定です。また、ラヂオきしわだでも録音放送します。詳細は、各放送局のウェブサイトをご確認ください。



新規採用職員 議場見学



4月5日に、市の新規採用職員研修の一環として議場見学と模擬議会が行われました。全員、初めて入る議場に緊張気味でしたが、模擬議会では新採職員が、議員や市長役としての原稿を熱心に読み、市議会について学びました。